

2023

CAMPUS ASIA PROGRAM

キャンパスアジア・プログラム
事業報告集



目次

メッセージ	2
2023年度のキャンパスアジア・プログラム	2
プログラム生の学び	4
派遣前学習	4
立命館プログラム学生の学び	5
中韓プログラム学生の学び	6
5期生の進路・就職状況	7
キャンパスアジア同窓会 (CAP+)	7
日中韓プログラム生卒業論文タイトル	8
CAMPUS ASIA HOMIES (学生団体組織)	10
キャンパスアジア・プログラム協議組織	11
広報・成果発表	12
2023年度のあゆみ	13
[2023年]	13
[2024年]	13
プログラム生の紹介	14
立命館大学	14
広東外語外貿大学	14
東西大学校	14
教職員紹介	14

2023年度のキャンパスアジア・プログラム

昨年度からはじまった本プログラム第3モードは、2023年度に3年目を迎えます。今年度は、ようやくコロナ禍による留学制限がほぼ全面的に解除され、中国、韓国への留学も通常に戻った感があります。そうした中で、各国CAP生たちは、元気に移動キャンパスに参加し、現地での学びを満喫してくれました。IAコースに参加した立命館アジア太平洋大学のCAP生たちも、今年度から現地での学びがスタートしました。オンラインでの交流や学びは便利でコミュニケーション範囲を各段に広げてくれますが、やはり現地に赴き、現場を直接見て、感じて、触れる、そんな生の学びの重要性を再認識できた一年でした。

一方、立命館大学で学ぶCAP生たちは、立命館小学校とのサービス・ラーニングや自主活動団体であるHomiesの活動をはじめ、活動範囲をキャンパスの外にどんどん広げています。2023年度の報告集では、今年度のCAP生やCAPに関わる教職員、皆様の活躍の様子をお届けしたいと思います。

新プログラムの3つのコース

1. キャンパスアジアコース

中国・韓国に1年ずつ2年間留学するコース。従来のプログラムと同様の方式で実施。

2. アジアグローバルコース

2年間4学期のうち、3学期は中韓に留学し、1学期は立命館アジア太平洋大学で英語で学ぶコース。キャンパスアジアコース生から選抜します。

3. インテンシブアジアコース

立命館アジア太平洋大学の学生が、中国・韓国に1学期ずつ1年間留学するコース。キャンパスアジアコースのプログラム生たちと共修します。



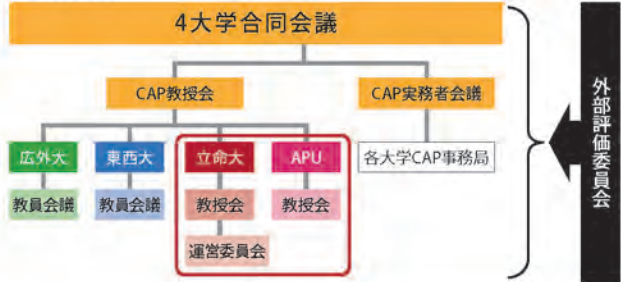
東アジアグローバルリーダー養成のための 日中韓共同運営移動キャンパス



【日中韓移動キャンパス（2年間）】



【運営体制】



【移動の流れ】

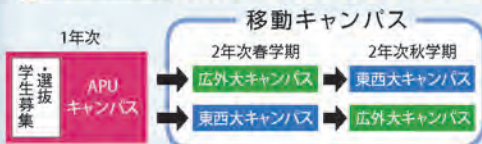
1 キャンパスアジアコース（CAコース）



2 アジアグローバルコース（新設：AGコース）



3 インテンシブアジアコース（新設：IAコース）



各キャンパス共修図

学年	RU	APU	広外大	東西大
1年次 春/秋学期	RU A 9名 B 9名	APU A 1名 B 1名	広外大 A 10名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名
2年次 春学期	RU A 10名 B 10名		広外大 A 9名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名
2年次 秋学期	RU A 10名 B 10名		広外大 A 10名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名
3年次 春学期	広外大 A 9名 B 9名	東西大 A 1名 B 1名	APU A 1名 B 2名	RU A 8名 B 10名
3年次 秋学期	東西大 A 9名 B 9名	広外大 A 1名 B 1名	RU A 10名 B 9名	APU A 10名 B 8名
4年次 春/秋学期	RU A 9名 B 9名	APU A 1名 B 1名	広外大 A 10名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名

本事業の成果

【人材育成目的】

東アジア グローバルリーダー

- 実践的な中国語・朝鮮語・英語の語学力
- 多文化間調整が可能なコミュニケーション能力と判断力
- 東アジア人文学の専門的知識と分析力

東アジアを中心とする
グローバルな舞台で
実践的に活躍する人材へ



RU=立命館大学、広外大=広東外語外貿大学、東西大=東西大学校、APU=立命館アジア太平洋大学

派遣前学習

第3モードカリキュラム適用2年目となる8期生が入学しました。12名の学生たちは、立命館アジア太平洋大学（APU）のIAコース生6名とともに、移動キャンパスに向けて派遣前学習に取り組んでいます。

結団式

日中韓8期生とIAコース生がオンラインで集まった結団式。移動キャンパスに向けた抱負を自国語以外の言語で発表しました。緊張した様子も見受けられましたが、来年度からの移動キャンパスを一緒に周る同級生たちと顔を合わせる貴重な機会になりました。（10月12日）



日中・日韓オンライン交流



キャンパスアジア演習Ⅱを利用して、韓国・弘益大学校世宗キャンパス（11月23日）および中国・紹興の浙江越秀外国語学院（12月7日）とのオンライン交流をおこないました。オンラインではあったものの、中韓の状況や若者の関心、語学学習などについて活発に意見を交わしました。協定校以外の中韓の学生たちと交流する機会を得て、移動キャンパスに向けモチベーションを高めることができました。



各種ガイダンス・アクティビティ

履修ガイダンス

共同研究室ガイダンス

移動キャンパス手続きガイダンス

結団式

Campus Asia Homies活動

キャンパスアジア専用科目

キャンパスアジア演習Ⅰ・Ⅱ

中国語（キャンパスアジアⅠ・Ⅱ）

朝鮮語（キャンパスアジアⅠ・Ⅱ）

立命館プログラム学生の学び

2023年度春学期に中国組14名、韓国組14名、秋学期には中国組12名、韓国組13名が移動キャンパスに参加しました。韓国では、勉学に励むとともにサークル活動やワークショップ、日韓ジュニアフォーラムなど、さまざまな行事に参加し、プログラムを越えた交流の輪を広げました。また、2023年度春学期からは、3年ぶりに中国への渡航が再開しました。学生たちは留学先の科目を対面で受講し、また国際文化祭や広東語講座、企業訪問など学内外での交流活動に参加することで、語学力の伸びや、中国・広東の文化や社会への知識関心を一層高めることとなりました。立命館のキャンパスにおいては、留学中の中韓CAP生との自主的交流活動が2年目に入り、4回生を中心として活動をより主体的におこなう姿が見られました。

韓国・東西大



中国・広東外語外貿大



東西大でのアクティビティ

歓迎会	グローバルリーダー特講
東西大学術エキスポ	博物館見学
韓国現地文化体験学習	日韓ジュニアフォーラム など

広外大でのアクティビティ

歓迎会	グローバルリーダー人材養成プロジェクト
茶道体験、餃子作り	企業訪問・農村体験
書道／広東語講座	国際文化祭
博物館見学	留学生発表会 など

海外インターンシップ

東西大中国研究センター人文社会研究支援事業団（韓国）
民主市民教育院ハラクハンアル（韓国）
広州市聯普翻譯有限公司（中国）



中韓プログラム学生の学び

春学期に中国20名、韓国12名、秋学期には中国20名、韓国13名のCAP生を受け入れました。昨年度から立命館小学校との小大連携事業として開始した「言語を通した未来の架け橋プロジェクト」は、今年度から中韓プログラム生の「キャンパスアジア日本研究Ⅱ」の授業に組み込まれました。小学校に出向いての交流合同授業に加え、週1回の中国語・朝鮮語学習「放課後プロジェクト」では、小学生に対して中韓CAP生が個別指導し、保護者を招いての成果発表会がおこなわれました。

立命館小学校との交流



2023年度から中韓プログラム生の正課授業に位置付け、本学1回生や留学を終えた4回生も課外活動として参加する形で、小学校児童の多言語・多文化学習の講師として参加するサービス・ラーニングを実施しました。中韓プログラム生は、毎週小学校に赴き、言語指導をおこなうとともに、教材を作成しています。

CAP×立命館宇治 学生交流会



今年度はオンラインで開催しました。プログラム生・高校生は互いに大学・高校での学びや生活を発表したほか、各国の早口言葉に挑戦したり、ドラマや映画、留学、語学学習など、それぞれが興味を持っていることについて質問したりしていました。



各種ガイダンス・アクティビティ

履修ガイダンス

生活ガイダンス

共同研究室ガイダンス

帰国ガイダンス

グループ面談

Campus Asia Homies活動

キャンパスアジア専門科目

キャンパスアジア演習Ⅲ・Ⅳ

キャンパスアジア日本研究Ⅰ～Ⅳ

日本語（総合）Ⅰ・Ⅱ

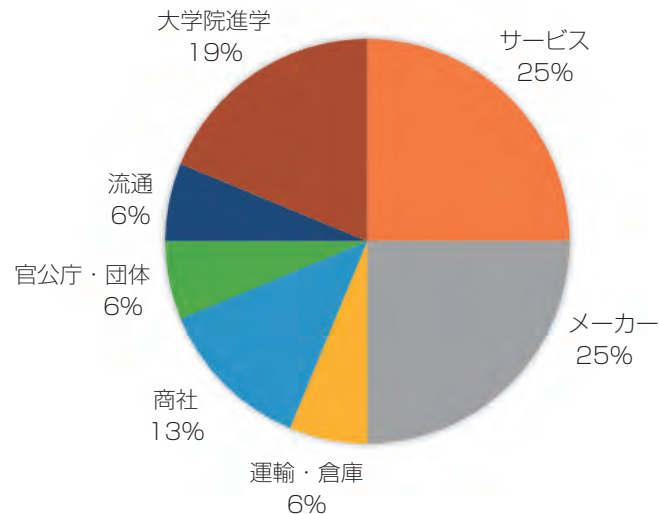
日本語（聴解口頭）

日本語（ライティング）Ⅰ・Ⅱ

日本語（キャリア日本語）Ⅰ・Ⅱ

5期生の進路・就職状況

本学5期生は、入学当初からコロナ禍の学生生活を送ってきましたが、キャンパスアジア・プログラムで培った経験を活かして多岐にわたる職種に進出しており、卒業後は国内外での活躍が期待されます（具体的な業種は下表を参照）。また今年度も、就職だけではなく、大学院進学などキャンパスアジア・プログラムでの学びを発展させて、より深い学びの進路を希望する学生もみられます。中韓プログラム生もそれぞれの国内での就職・進学だけでなく、日本をはじめとする海外の大学院への進学を希望するなど、キャンパスアジアから世界への挑戦を目指す学生も増えています。



キャンパスアジア同窓会 (CAP+)

1月27日、立命館大学平井嘉一郎記念図書館で2023年度同窓会が開催され、CAP修了生が集いました。今年度は移動キャンパスから帰国したCAP現役生や、卒業後に日本の大学院に進学した中国の修了生も参加しました。修了生による、キャンパスアジアでの学びを生かし現在のキャリアに至る講演や、現役生の自主団体である Campus Asia Homiesの活動報告がされました。また当日は、韓国・釜山でも東西大の同窓会が開かれ、オンラインによる韓国修了生との交流の時間を持つことができ、修了生・現役生ともに有意義な同窓会となりました。今後も学年や国境を越えてCAP生の連携を深め、更なる同窓会組織の充実に取り組んでいきます。



日中韓プログラム生卒業論文タイトル

キャンパスアジア・プログラムで学び、キャンパスアジア教授会で修了が認定された学生には、3大学が共同で発行するプログラム修了証が授与されます。修了認定には、2年間の移動キャンパスを完遂すること、卒業論文のサマリーを日中韓3カ国語で作成することなどが条件となっており、キャンパスアジア・プログラムの学びを大成させることが求められます。2023年度に認定された修了生のリスト、および修了生が提出した卒業論文のタイトルは以下の通りです。

立命館大学の修了認定

①2024年冬認定（2024年3月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
西谷沙耶	4	カナダ在住若年層中国人の文化変容 ——インタビュー調査から見る彼らの性格とライフスタイル
野田海晴	4	ケアリングとしての自律学習——メイヤロフのケア論の検討を通じて
渡邊愛蘭	4	日本主要新聞社4社の日韓関係に関する社説の報道傾向比較 ——日韓共同宣言20周年・韓国レーダー照射事案を事例として
大塚美月	5	日中韓における同形異義の漢字語研究
嘉名侑希	5	植民地都市釜山における在朝日本人の役割と対朝鮮人認識
柴田明瑠	5	日本における「韓流」の受容変化と影響
鈴木菖子	5	フェニルケトン尿症親の会が与える患者のQOLへの影響
豊坂しおり	5	中国人留学生と国民性との関わり——近年の事件報道をもとに
中島柚子	5	香港における国家安全維持法の制定と一国二制度の変容
早川理奈	5	韓国の結婚移民による地域活性化と少子化対策
松本茉優	5	日中韓の話題選択から見る認識の違い ——大学生の初対面会話におけるコミュニケーションに着目して
水木彩楓	5	韓国の新造語と日本語翻訳の特徴——ウェブトゥーン『女神降臨』を中心に
村嶋壮太	5	国境の島対馬と韓国の関係性
森谷麻由	5	韓国発のデジタル漫画媒体ウェブトゥーンが日本の漫画市場に及ぼした影響と課題
森戸明日香	5	神道の信仰と観光——北野天満宮の天神信仰を事例に
山口詩央里	5	1970年代韓国の労働手記における女性たち
山崎玲奈	5	若年層の台湾アイデンティティは何によってもたらされたのか ——教育と政治の影響の視点から
山中結稀	5	韓国文学におけるSNS詩の役割と可能性
吉村美夢	5	創作小説『(Not) All People』

広東外語外貿大学の修了認定

①2023年夏認定（2023年7月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
宋思瑶	5	大学教育在地国际化的中日韩比较研究-以课程的国际化为切入点
许晓蕾	5	中日终身学习社会研究——以公共图书馆事业为中心
罗宁凡	5	建构主义视域下“东亚共同体”的实现——以“东亚文化共同体”的构筑为中心
程瀚瑶	5	从语言文化学角度对中日韩与酒有关的俗语的比较考察
邬雨彤	5	母语迁移对日语学习的影响——以中日同形异义词为中心
孟天远	5	关于日语助词「の」、汉语助词“的”和韩语助词‘의’的意义和用法的对比研究
曾钰淇	5	“中日韩高等职业教育的办学模式比较研究——基于产学合作视角”
程雨	5	关于“称赞”的中日对比研究——以YouTube平台视频的称赞评论为中心
胡筋	5	新自由主义下日本企业制度的变迁——以“纵式理论”为中心

氏名	期	卒業論文のタイトル
陈晓彤	5	日韩文化产业发展的成功经验对中国文化产业“走出去”的启示
曹天翔	5	中日韩三国的历史教科书问题研究
刘双珠	5	日语中的外来语对日本近现代文化的影响
张思怡	5	谈跨文化交际中中日礼节的差异性——以礼物赠答为中心
王丹妮	5	媒体下日韩两国#MeToo 运动报道的对比研究——基于媒体框架构造视角
梁潇文	5	从《新世纪福音战士》角色看日本传统人偶文化的特征
谢冰琳	5	从三国产后护理产业发展状况展望三国产后护理未来
邓英俊	5	从语用学的视角看中国人和日本人的心理交际距离的差异
严绪冰	5	东方主义中来自日本的启示——以文化自信为中心
丁晨	5	关于中日韩的共享经济发展状况——以共享单车和共享汽车为中心
高瑶	5	功能对等视角下日语歌曲汉译难点分析与解决对策

東西大学の修了認定

①2023年夏認定 (2023年8月卒業)

氏名	期	卒業論文のタイトル
김동협	2	한국의 불법체류 외국인 정책과 한계 현행 정책 분석 및 일본과의 비교
문중헌	2	한·일 음식 배달 플랫폼 산업 비교연구
김수지	3	한국의 문해력 현황
남혜린	3	다문화 사회를 맞이한 한국과 일본 단일민족 문화와 다문화 공생을 중심으로 비교고찰

②2024년冬認定 (2024년2월卒業)

氏名	期	卒業論文のタイトル
김용기	2	한국 사회의 새로운 현상으로서의 노시니어존 (No Senior Zone)
우준성	2	한·중·일 고령인구의 증가와 대응 전략 공통점과 차이점을 중심으로
김태원	3	한일 양국 시대적 고난기 문학 비교 -문학을 통한 양국의 고난기 수용 방식을 중심으로-
박의진	3	다문화 사회를 맞이한 한국과 일본 단일민족 문화와 다문화 공생을 중심으로 비교고찰
배정환	3	한국과 일본의 스포츠 정책과 생활체육 비교
장태양	3	후쿠시마 원자력 발전소 사고와 한국의 대응
조연수	3	일본과 한국의 플라스틱 사용 규제에 대한 비교 연구 - 각국의 플라스틱 사용 규제에 대한 현황과 전망 중심으로
김승미	4	K-POP이 아시아 문화에 미친 영향
배수현	4	일본과 한국의 동물보호법 비교 연구-각국의 동물보호법 현황과 전망 중심으로-
안도희	4	제주도와 오키나와의 군사기지 설립과 인식 -지리적 특성과 역사를 중심으로-
이수지	4	한국, 일본 장애인 고용 노동 지원정책 비교
이아름	4	한중 청년세대 비혼 인구의 증가 -비혼'여성'의 증가를 중심으로-
정해린	4	일본의 처리수 방류에 따른 동북아 관계 변화 -정치적 양극화를 중심으로-
조민경	4	한일 명품 소비 경향 비교 연구 - 2,30대(MZ세대)를 중심으로-
조현서	4	한국과 일본의 설화 비교 -한국의 <임어의 보은>와 일본의 <浦島太郎>를 중심으로-
최승현	4	한국 화장품의 일본 진출 성공 원인 분석 -2020년 이후의 일본 화장품 시장을 중심으로-
강태윤	5	은둔형 외톨이 수의 급증 원인과 대응 정책의 방향성에 관하여
공민단	5	한국과 일본의 공적개발원조(ODA)에 관한 비교연구 -필리핀 농업분야 ODA를 중심으로-
박준성	5	한국과 일본의 주류산업 비교 고찰 -맥주산업을 중심으로-
이다은	5	OTT 플랫폼의 성장에 따른 국내 애니메이션 콘텐츠의 방향성 연구 -일본의 성공 사례를 예시로-

CAMPUS ASIA HOMIES (学生団体組織)

立命館大学、立命館アジア太平洋大学、東西大学校（韓国）、広東外語外貿大学（中国）の4大学に所属するプログラム学生が、親睦を深めるとともに、互いの国の言語・文化をより深く理解するための活動をおこなうことを目的として、2022年5月に発足しました。

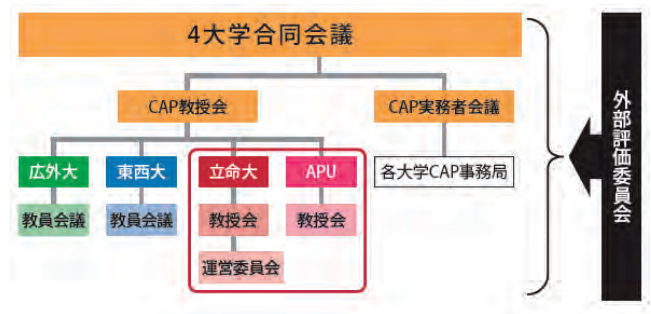
タンドム・パートナー制度を用いた自主学习および学習報告や、大学キャンパス内外における学生間での国際交流を通じて、プログラム生としての成長を図るとともに、3カ国の学生たちによる主体的な学びを実現する一助となっています。



キャンパスアジア・プログラム協議組織

【運営組織】

第3モードカリキュラムが2年目となり、立命館アジア太平洋大学を加えた4大学の組織による運営・協議は滞りなく進んでいます。



4大学教職員合同会議・実務者会議

コロナ以降初めて、4大学が揃って対面で開催する合同会議となりました。2023年度は立命館大学が開催校となり、3ヶ国の事業団長をはじめとするCAP教職員を迎えました。各大学によるプログラムの現状報告や、2024年度にはじまるAGコースの教学、ポストCAPをめぐる議論など、今後のプログラムについて、忌憚のない活発な議論を交わしました。(8月1日)



キャンパスアジア運営委員会

本学では、文学部教授会、文学部執行部との連携を密にし、プログラム全体にわたる検討と承認を行うキャンパスアジア運営委員会を設置しています。コロナ禍の昨今は、事業の達成状況や今後の計画の報告とともに、CAP生の渡航判断やオンライン留学に関する協議をおこなっています。

キャンパスアジア事務局会議

月1回開催している事務局会議では、実務に携わるプログラム教職員がプログラムの細部にわたる事項を確認・検討するとともに、派遣・受入CAP生の学習・生活状況に関する情報を共有して必要な対応を協議しています。日常的な情報共有や議論も含めて、円滑かつ発展的なプログラム運営を担っています。

キャンパスアジア教授会

CAP生の修了認定や共同運営科目の新設など、プログラムの教学について協議するキャンパスアジア教授会を実施しています。今年度は6月・10月・2月に開催し、日中韓あわせて63名の修了生を輩出するとともに、教学の質的向上に関する議論を交わしました。

広報・成果発表

キャンパスアジア・プログラムウェブサイト（www.ritsumeai.ac.jp/campusasia/）では、本プログラムに関する基本的な情報を公開しています。動画を始め、プログラムで創りだされたさまざまな成果を発信するコンテンツを公開しています。また、キャンパスアジアブログは、立命館プログラム生と中韓プログラム生によって記事が執筆され、留学生活の生の声を伝えています。公式Instagram（ritsumeai_campus_asia）では、プログラム生の日常的な授業や活動、留学中の様子などについても随時発信しています。

キャンパスアジア・プログラムウェブサイト



公式 Instagram



公式 YouTube



公式ブログ



2023年度のあゆみ

【2023年】

4月3日	立命大8期生履修ガイダンス
4月5日	入学後募集説明会
4月7日	キャンパスアジア科目担当者会議
4月11日	入学後募集 面接選考
4月26日	立命大8期生共同研究室ガイダンス
5月1日	「未来の懸け橋プロジェクト」立命館小学校との合同授業
5月30日	韓国・大邱地域の大学国際交流・地域間交流担当者との情報・意見交換会（於：立命大）
6月5日	キャンパスアジア教授会
6月20日	中国・韓国プログラム生大学院ガイダンス 韓国・東西大学校 春学期終了 中国・広東外語外貿大学 春学期終了
7月25日	立命大6期生キャリアセミナー
7月27日	秋学期渡航前ガイダンス
8月1日	4大学（立命大・APU・東西大・広東外大）合同会議（於：立命館）
8月5・6日	オープンキャンパス・キャンパスアジア説明会 中国・広東外語外貿大学 秋学期開始 韓国・東西大学校 秋学期開始
9月14日	中国・韓国プログラム生 生活・履修・共研ガイダンス
9月27日	キャンパスアジア教授会
10月12日	8期生結団式
10月23日	「未来の懸け橋プロジェクト」立命館小学校との合同授業
11月1日	立命館アジア太平洋大学 IAコース生語学学習ガイダンス
11月1日	立命大8期生・IAコース生移動キャンパスガイダンス
11月23日	韓国・弘益大学校世宗キャンパスオンライン学生交流会（キャンパスアジア演習Ⅱ）
12月6日	中国・韓国プログラム生 帰国前ガイダンス 2024年度ビザガイダンス
12月7日	中国・浙江越秀外国語学院オンライン学生交流会（キャンパスアジア演習Ⅱ）
12月17日	プレエントランスデー 入学前募集ガイダンス
12月19日	CAP×立命館宇治高等学校 学生交流会
12月21日	韓国・東西大学校 春学期終了
12月29日	中国・広東外語外貿大学 秋学期終了

【2024年】

1月27日	キャンパスアジア・プログラム第2回同窓会総会
2月7日	2024年度春学期渡航前ガイダンス
2月9日	キャンパスアジア教授会
2月21日	2024年度入学前募集 第1回説明会
2月26日	2024年度入学前募集 第2回説明会
3月4日	中国・広東外語外貿大学 2024年度春学期開始 韓国・東西大学校 2024年度春学期開始
3月15日	中国・韓国プログラム生 2024年度春学期オリエンテーション 中国・韓国プログラム生 2024年度春学期生活ガイダンス
3月18日	2024年度入学前募集 面接選考
3月21日	立命大キャンパスアジア・プログラム修了式
3月22日	中国・韓国プログラム生 2024年度春学期履修ガイダンス

プログラム生の紹介

立命館大学

8期生

伊熊 さら	大森 陸翔	角谷 実咲	川上 二功桜
高倉 咲妃	高田 萌杏	中出 朋花	中野 智成
日塔 真桜	本多 勇一郎	宮 里衣奈	山口 旭

広東外語外貿大学

春学期新規受入生

WANG Xinyi	WANG Bohao	LIANG Lanxin	XIE Mengqi
SHEN Meirui	LU Jiaying	SUN Jiawen	HUANG Yijia
ZHOU Haoping	LIANG Kexin		

秋学期新規受入生

WANG Yuxuan	ZHOU Yu	XIAN Zijun	ZHANG Yue
CHEN Junkang	FANG Xingrui	LIU Yantong	LIU Ziqian
LIN Yixun	LI Yiyuan		

東西大学校

春学期新規受入生

KIM Wonjin	BYEON Suyoung	LEE Yebin	LIM Gagyung
KIM Hyeongwoo	HAN Jisu		

秋学期新規受入生

EOM Damon	KANG Yeonghoon	KIM Yeonwoo	CHO Chaeyeon
-----------	----------------	-------------	--------------

教職員紹介

〈事業団長〉	中川 優子						
〈担当教員〉	上野 隆三	庵谷 由香	金津 日出美	三木 貴司	尾崎 順一郎		
〈担当職員〉	勝野 芽	朴 香連	西村 葉子				

2023年度 キャンパスアジア・プログラム事業報告集

発行日 2024年3月31日
編集兼発行者 立命館大学文学部 キャンパスアジア・プログラム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
<http://www.ritsumeai.ac.jp/campusasia/>



CAMPUS ASIA PROGRAM

